



令和4年度

10月 三大幼だより

江東区立第三大島幼稚園
園長 貞方 敦子
令和 4年 9月 30日



三大幼 HPは
こちらから

こどもたちの育ちを保護者と共に

園長 貞方敦子

第三大島幼稚園は、10月8日に運動会を開催する予定です。感染対策を十分考慮し、今年度は、全園児で行う久しぶりの運動会です。

年長組は、応援グッズとして、ペットボトルマラカスを作製しています。音がなるようにと、本園の園庭にあるわくわく野草園に咲いているジュズダマの実を入れています。たくさんなっているジュズダマを使って作るというのは、担任の発想です。なるほど！と思いました。年中組は、年長組とは異なる素材で応援グッズを作っています。それぞれどのような音がなるのかは、お楽しみに。

さて、この運動会の取り組みを見ていて、年長組がとても張り切っているのを感じます。保護者の方から聴く、お家での様子も重ねてみると、確かに、変わってきています。

例えば、「走ること」に関する行動変容について、Aさんの場合は、友達Bさんと一緒に遊ぶ、一緒に走るのが楽しいから、何度も何度も走る。そのことにより、走るのが速くなりました。そして、疲れなくなりました。更に、走り方も変わってきました。

Cさんの場合は、「自分ももっとはやく走れるようになりたいから、徒歩通園を頑張る」と言って、毎日続けています。保護者の方の話では、時々、「今日は自転車でもいいかな・・・」ということもあったそうですが、保護者の方が「歩こう」と声を掛け、親子での徒歩通園が続いているということです。そして、Cさんは更に、「チャレンジしたい、もっとやってみよう！」という気持ちが強く見られるようになり、先日、気持ちを高めるための『音楽』も要求されました。このようなところもCさんの行動変容と捉えています。自分なりの目標に向けて行動や態度が変わってきているのは、すごいですね。なにより、それぞれの子が、その子なりに一生懸命、取り組んでいるところがいいなと思います。「運動会が楽しみで、家でも司会をしたり、運動会の踊りを見せてくれたりするんです。取り組みの様子を毎日教えてくれます」という保護者の方の言葉からも伺えるように、こどもたちの気持ちの充実を感じます。このように、保護者の方とこどもたち一人一人の日々の変化について話せるのが、第三大島幼稚園のよさだと思います。お子さんを真ん中にし、お子さんの成長を共に支えていきましょう。子育てにおいて、うまくいかない時もあります。(だって、人間だもん。)私たち教師は、その子の思いを読みとろうとする努力と、その子の思いにしっかりと向きあう生活を心掛けていきます。今後ともどうぞ、よろしくお願いします。



今月の指導のポイント

年中りんご組

暑さも和らぎ、園庭で体を動かして遊ぶ姿が多くみられるようになりました。また、様々な活動にも、学級の友達と一緒に活動することに期待をもち、取り組む姿が見られます。9月から続いている運動会の取組を通して、教師や友達と一緒に体を動かす楽しさを感じられるようにしていきます。年長組の姿にも気付かせることで、年長児に親しみや憧れの気持ちをもったり、様々な運動遊びに取り組んだりするきっかけになるようにします。

友達と同じ場で遊んだり、関わって遊んだりすることを楽しむ中で、自分の思いやイメージを、動きや言葉で表そうとする姿も増えてきました。まずは教師が一人一人の思いをじっくりと聞き、安心して自分の思いを表せるようにすることに大切にしています。そして、相手にも思いがあることに気付けるようにしたり、思いの伝え方を知らせたりしながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるようにしていきます。

年長にじ組

こどもたちは運動会に向かってそれぞれの目的をもちながら取り組んでいます。司会練習では、友達を誘い合って練習し、「大きな声で言わないと聞こえないね。」「お辞儀はそろえた方がいいね。」など友達に伝える姿が見られます。

リレーでは、チームごとに順番を決め、どうやって走ると相手のチームに勝てるのかなど思いや考えを出し合おうとしています。

リズムでは、友達と気持ちを合わせ動くことと素敵に見えることに気付いています。それぞれの気付きを認めていくことで、自信をもって取り組めるようになります。また、秋の心地よさを感じながら走ったり、園庭の自然に関心をもったりしながら、季節の変化を感じられるようにしていきます。